

株主優待制度について

2018年3月末時点の優待対象株主様のポイントの取得期限が迫っています。

2018年12月28日昼12時まで

必要な物

8月下旬に郵送した「株主優待のご案内」をご確認ください。

1 株主番号

2 クーポンコード

上記をご用意いただき、「株主優待専用サイト」よりお受け取りください。



<https://video.crank-in.net/shareholder/>

お受け取りになられた株主優待ポイントは、取得した月から12ヶ月後の末日までご利用いただけます。

株主優待の内容

クランクイン!ビデオ クランクイン!コミック



映像配信サービス「クランクイン!ビデオ」および、電子コミックサービス「クランクイン!コミック」でご利用可能な株主優待ポイントを贈呈します。(1ポイント=1円相当)

| | 継続保有期間 | |
|-------|----------------------|------------------------|
| | 1年未満 | 1年以上※1 |
| 保有株式数 | 1,000株以上 5,000株未満 | 2,000ポイント 2,500ポイント |
| | 5,000株以上 | 4,000ポイント 6,000ポイント |

※1. 毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載され、かつ前年の3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に連続して、同一株主番号で1,000株以上または、5,000株以上で記載された株主様といたします。

※2. 株主優待ポイントをご利用いただくためには、「クランクイン!ビデオ」または「クランクイン!コミック」の会員登録が必要となります。いずれかの会員登録によって、ビデオ・コミック両方のサービスをご利用いただくことができます。

コーポレートサイトのご案内

最新ニュースはもちろん、プレスリリース、投資家情報などを随時更新しています。また、個人・法人向けサービスやグループ会社サイトとリンクしていますので、必要な情報を素早く閲覧することができます。ぜひご利用ください。

ブロードメディア



さらに便利に。スマートフォンでもご覧いただけます。

当社ウェブサイトはスマートフォン・タブレットにも対応しています。外出時にも当社情報の入手が可能です。

<http://www.broadmedia.co.jp/>



会社概要 / 株式情報 / 株主メモ (2018年9月30日現在)

会社情報

| | | |
|------|---|--|
| 社名 | ブロードメディア株式会社 | |
| 英文社名 | Broadmedia Corporation | |
| 設立 | 1996年9月5日 | |
| 資本金 | 3,457,496千円 | |
| 従業員 | 35名(連結400名) | |
| URL | http://www.broadmedia.co.jp/ | |

取締役および監査役

| | | | |
|----------|-------|-------|-------|
| 代表取締役社長 | 橋本 太郎 | 常勤監査役 | 古屋 俊一 |
| 取締役 | 久保 利人 | 監査役 | 北谷 賢司 |
| 取締役 | 嶋村 安高 | 監査役 | 佐藤 淳子 |
| 取締役 | 押尾 英明 | 監査役 | 山田 純 |
| 取締役(非常勤) | 桃井 隆良 | | |
| 取締役(社外) | 関 伸彦 | | |

※ 古屋俊一、北谷賢司、佐藤淳子および山田純は、社外監査役であります。

株式の状況

| | |
|---------------------------------------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 128,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 79,147,323株 |
| 株主数 | 15,570名 |
| ※発行済株式の総数には、自己株式(1,157,427株)を含んでおります。 | |

所有者別株式分布

| | 持株数(千株) | 出資比率(%) |
|---------|---------|---------|
| 個人その他 | 71,095 | 89.83 |
| 証券会社 | 4,561 | 5.76 |
| 外国人 | 2,164 | 2.74 |
| その他国内法人 | 1,108 | 1.40 |
| 金融機関 | 217 | 0.27 |

※個人その他には、自己株式を含んでおります。

株主メモ

| | |
|---------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日～翌年3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 期末配当基準日 | 3月31日 |
| 中間配当基準日 | 9月30日 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 JASDAQスタンダード |
| 公告方法 | 電子公告 (当社ホームページに掲載) http://www.broadmedia.co.jp/ ただしやむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。 |
| 株主名簿管理人 | みずほ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | みずほ信託銀行株式会社証券代行部 |
| 各種事務手続き | 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-288-324 (通話料無料) |



The Second quarter business report

株主通信

第23期 第2四半期決算のご報告

2018.4.1 → 2018.9.30

BROADEN THE BORDERS OF MEDIA

ブロードメディア株式会社
(4347)

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業へのご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。この度は、第23期第2四半期の決算状況をご報告するとともに、経営および事業の進捗状況を説明させていただきます。ご一読のほど、よろしくお願い申し上げます。

2019年3月期 第2四半期 決算ハイライト

売上高 (百万円)



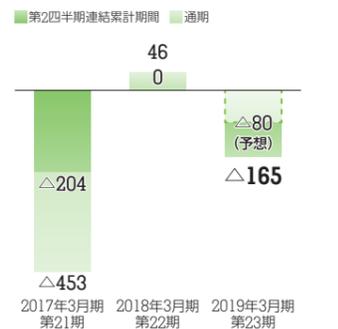
営業損益 (百万円)



経常損益 (百万円)



親会社株主に帰属する当期純損益 (百万円)



セグメント別の業績

セグメント別売上高比率





トップインタビュー

全社的なガバナンスと コンプライアンス体制の強化を進め、 各セグメントにおいて、新たな挑戦と さらなる収益機会の創出による 収益拡大を目指します。

代表取締役社長 橋本 太郎

益ともに黒字となっており、前年同期と比べると収益の改善が進んでいます。事業別のセグメントで見ると、放送とスタジオは減収となりましたが減益はスタジオのみで、放送(釣りビジョン)は増益となりました。全体的に見ると業績が回復しつつある状況です。

各事業の進捗と展望について

まず、コンテンツセグメントについてお話しします。教育サービスは、入学生徒数が増加し堅調に推移しています。高等学校では初となる「eスポーツコース」をはじめとした新規コースの開講や、新キャンパスの開設など、生徒たちの夢の実現に向けたサポート体制を引き続き充実させていきます。

また、クラウドゲーム事業では、Gクラス技術を活用したプラットフォームの提供を通じて、提携関係の強化と新たなサービスの構築に向けて継続的な開発を進めています。なお、投資先であるポケット社におきましては、この11月にNintendo Switch™用ソフトとして『Overcooked®2 パッケージ版』の販売を開始し、12月20日に『加藤一二三 九段監修 ひふみんの将棋道場』の発売が決定しております。

デジタルメディアサービスのクランクイン!は、コミック、映画、エンタメニュースを融合させたサービスにより利用者数が増加しており業績の改善が進んでいます。

次に技術セグメントですが、この10月に制作会社、ポスト・プロダクションや放送局向けの大容量ファイルの高速配送システム「ブロードメディア®CDN ストック」の提供を

開始しました。最初のユーザーとして、日本テレビ様にご採用いただき、国内外で動画やポスターデータなどの大容量ファイルの送受信にご利用いただいております。今後は利用者の拡大とともに、新たなソリューションやサービスの提供に努めてまいります。

最後にネットワーク営業ですが、ブロードバンド回線の販売が好調に推移し、売上高は前年同期比で150%、営業損益も黒字に転換しました。しかしながら、現状の傘下代理店統括ビジネスは伸び悩んでおります。そうした中で今後の成長を目指して新たにテレマーケティング事業を行うブロードメディア・コミュニケーションズ株式会社を10月に設立しました。この会社はテレマーケティング事業を行っているトライバルユニット社とのジョイントベンチャーで、双方のノウハウを活かすことで、来期からの収益化を目指してまいります。

Q 株主の皆様へ

2018年度の連結業績予想は、第2四半期まで売上高・損益ともに概ね想定通りに進捗しており、据え置きとさせていただきます。なお、釣りビジョン社の架空取引被害に係る損害の回収や税金の更正手続きによる還付は、総額や時期が未定のため、業績予想には織り込んでおりません。

下期につきましても、引き続きグループのガバナンスとコンプライアンス体制を強化して持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。また、各セグメントにおいて、新たな挑戦とさらなる収益機会の創出による収益拡大を目指し、早期に株主還元ができるように努めてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Q 釣りビジョンの架空取引被害と対応状況について

2018年1月に発覚した架空取引被害について、あらためて株主の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

本件発覚後に実施した社内調査委員会／第三者委員会による調査の結果、委託先の映像制作会社による詐欺行為であり、当社グループ内に加担した者が存在する事実は確認されませんでした。また、7月には、過年度を含めた全ての決算訂正を完了し、8月に東京証券取引所へ「改善報告書」を提出いたしました。現在、再発防止に向けた改善措置を実行し、全社的なガバナンスとコンプライアンス体制の強化を行っております。

その後の対応ですが、すでに刑事手続きとして、警察・検察にて捜査を行っていただいております。また、民事手続きとして、損害の回収を図るため、裁判や個別交渉による対応を慎重に行っております。

さらに、釣りビジョン社は消費税や法人所得税の更正手続きも進めており、引き続きしっかりと対応を進めるとともに、損害の回収に努めてまいります。

Q 2018年度上期の業績について

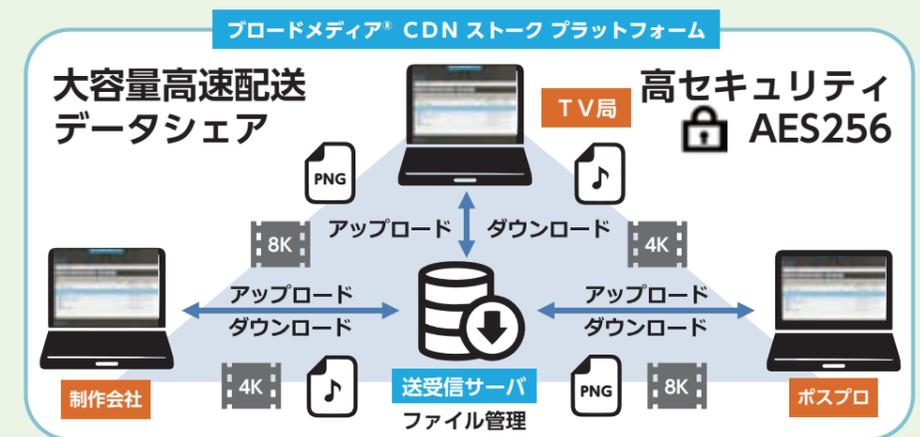
前年同期に比べて売上高は7%増加しましたが、架空取引被害の関連費用に約1億5千万円が発生したことなどにより、営業損失、経常損失、純損失を計上しました。この関連費用が発生しなかったと仮定すると、営業損益、経常損

トピックス

大容量ファイルの高速配送システム「ブロードメディア®CDN ストック」の提供を開始

2018年10月に映像・音声・4K・8Kなど大容量ファイルを高速配送できるファイル配送システム「ブロードメディア®CDN ストック」のサービス提供を開始しました。本サービスは、国内・海外を問わず、インターネットがつながる場所であれば、ファイル種類やファイルサイズ、ファイル数の制限なく送受信が可能で、最初のユーザーとして、日本テレビ放送網株式会社の事業局映画事業部様にご採用いただき、大容量ファイルの送受信にご利用いただいております。

また、次世代の国際標準映像規格と期待される「IMF規格」にも対応しており、今後も映画業界向けで培ってきた経験や技術を活用し、多くのお客様に対し提案してまいります。



ブロードメディア・コミュニケーションズ株式会社を設立



2018年10月に、株式会社トライバルユニットとのジョイントベンチャーとして、ブロードメディア・コミュニケーションズ株式会社を設立しました。

トライバルユニット社は、自社保有400ブースを活かしたコールセンターを最大限に活用したテレマーケティング事業を行っており、豊富な経験とノウハウに基づく質の高い顧客対応でお客様企業にとって適切なサービスを提供しています。

当社はこれまで傘下代理店統括ビジネスという形でネットワーク営業を行ってまいりましたが、新たにジョイントベンチャーを設立することにより、通信商材のテレマーケティング事業を新たなビジネスモデルとして開始することを決めました。